



★東村山市市制施行60周年・東村山第七中学校開校40周年★

七中だより

東村山市立東村山第七中学校

学校便り 第3号

令和6年7月5日(金)発行

水のような生き方を

校長 阿久津 健一

新年度がスタートし2か月半がたちました。6月は多くの部活動で大会が開催されていました。皆さんの努力とチャレンジする姿勢はとても素晴らしかったです。失敗や挫折があったかもしれませんが、そこから学ぶことが大切です。成功や失敗、挑戦や挫折の経験を振り返り、次の成長につなげる気持ち【成長エンジン】を誰もがもっています。前に進む努力を積み重ねていきましょう。

3年生は校内での平和学習発表、杏林大学生とのハンセン病学習における交流など、平和や人権の学習、修学旅行に向けた準備等を進めています。

2年生は6月27日の音楽鑑賞教室にて、集団で行動するにあたりどんなことが必要なのか考え直すことがで



3年 平和学習発表



3年 ハンセン病学習

きたと感じています。

1年生は6月28日の国営昭和記念公園における校外学習で、雨の中でしたが集団生活をとおして七中生としての意識が高まり、学校生活においても成長を感じることができました。

このように、生徒の皆さんは今年度決めた自分の目標に向け、しっかりと努力を積み重ねていることと思います。

そんな皆さんに頑張ってもらいたいという気持ちを込めて、「人間として理想とする生き方」の話をしたいと思います。

みなさんは『上善水如(じょうぜんみずのごとし)』という言葉を知っていますか。およそ2500年前の中国古典に登場する「老子」という人物が残した言葉です。

老子は次のように言っています。



2年 音楽鑑賞教室

「人として生きる上で理想とされるのは、水のような生き方である。

まずは『柔軟性』。水はどんな器にも対応し、その器に合わせて適応する。

次に『謙虚』。高いところから流れる水は、常に下へ下へと、頭(こうべ)をたれる稲穂のように高慢にならず、物事を謙虚に受け止め流れていき、汚濁を洗い、人の嫌がる場所へも行く。

続いて『継続した力』。水の力は岩をも砕くと言われ、岩の上から水滴が長い時間をかけ、ぽつりぽつりと落ちて穴を開ける。決してあきらめることなく地道に続ける力。

そして『命の源』。この地球上で、生きている動物、植物、全ての生命にとって、「水」は不可欠なもの。私たち人間も、水なしでは決して生きられない。無くてはならないとても重要なものである。」



1年 校外学習

私たちが普段、当たり前のように使う「水」。生活の中で、この『上善水如』という言葉の思い出せば、水のありがたみが分かり、また、水のようにどんな状況であっても臨機応変に対応できる生き方をすることが「理想」であるということに気付くのではないのでしょうか。『柔軟な思考、素直で謙虚な姿勢、継続は力なり、命の源』、願わくば、今の中学時代にこの水のような生き方を理想とし、一つでも身に付けられたらと思います。

★7月予定表 ★

日	曜	行事等	ランチ	日	曜	行事等	ランチ
1	月	学年朝礼 安全指導	○	16	火	4時間授業 ランチ終 研究授業	○
2	火	脊柱側弯検診	○	17	水	4時間授業 修学旅行事前健診	×
3	水		○	18	木	4時間授業 大掃除	×
4	木	専門委員会	○	19	金	1学期終業式 引渡訓練	×
5	金	中央委員会	○	20	土		—
6	土		—	21	日		—
7	日		—	22	月	夏季休業日始 三者面談始	—
8	月	生徒会朝礼 II期時間割始	○	23	火		—
9	火		○	24	水		—
10	水	2年上級学校説明会 6時間授業	○	25	木		—
11	木		○	26	金		—
12	金		○	27	土		—
13	土	学校公開 3時間授業 3年卒業生のお話を聞く会	×	28	日		—
14	日		—	29	月		—
15	月	海の日(祝日)	—	30	火		—

※8月28日(水)2学期始業式

※8月30日(金)ランチ始